

設立から第8期めとなる2014年は、そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター（以下「マネジメントセンター」）での北海道からの業務受託が終了し自主運営へ移行するという節目を迎えて、新たな活動展開のための体制を模索する時期となりました。

以下、各事業ごとに、2014年の活動についてご報告します。

【活動計画に対して：○=達成 △=途上 ×=未了】

■出版事業

○ブックレットの刊行：5月に『そらち炭鉱の女性たちが語る集い』（ブックレット03、産炭地研究会JAFCOF編）を刊行しました。現在は、『日本最古のアメリカ製鉄道橋』（ブックレット02）の増刷準備、『朝日炭鉱閉山40年』（仮題：ブックレット04）の編集が進行中です。

■炭鉱遺産事業

○夕張～三笠を結ぶ広域キャンペーンの展開：「そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト」を札幌市立大学との共催で開催し、4,264名の来場者がありました。「点から線へ」というコンセプトの下で夕張市（北炭清水沢火力発電所）と三笠市（住友奔別鉱）とを結んだ広範囲に及ぶ展開は、その運営に携わった方々の努力によって達成できたものであり、新たな流動の創出するなど管内での広域連携の端緒となる取り組みが実現しました。今後、来場者への調査も実施する予定です。

△炭鉄港の継続：今年も空知と室蘭・小樽との歴史的つながりをクローズアップする「炭鉄港」を展開しました。昨年に比べて具体的なプログラムの取り揃えができずパワーダウンは否めませんでした。室蘭・小樽へのオルグ活動に従来になかった新たな展開が見られました。空知総合振興局に働きかけて実現したフォーラムが鹿児島・小樽・室蘭からゲストを招いて開催（2015/01/24）され、個々のプログラムに手が回らなかったことの補償となりました。「炭鉄港」は、2015年に予定されている「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産認定と連動した動きに発展させることができる素材であり、今後も継続的に展開する必要があります。

×炭鉱遺産マップの刊行：アートプロジェクトや「炭鉄港」と連動した取り組みを構想しましたが、一連の催事を行うのが手一杯で、具体化には至りませんでした。

△炭鉱遺産の保全・活用に向けた具体的活動：文化財としての観点からの検討や具体的な取り組みは未着手のまま終わりました。しかし、はじめて「環境」という観点からの価値創造のため、環境省事業を導入（奔別をモデルフィールド）し、次年度の展開も含めて活発に活動を行いました。

■学術支援事業

△他地域の産業遺産活動の支援・連携：2015年度から夕張市が計画している石炭博物館のリニューアル計画へ参画するための事前準備を行いました。また、赤平市制60年記念事業の一つとして「炭鉱灯」というライトアップイベントを行った赤平コミュニティガイドクラブTANtanの活動を支援することを通じて、炭鉱跡地の活用の方策を提示することができました。

○空知産炭地域に対するリファレンス業務や史料の受け入れ保存：マネジメントセンターで扱う空知産炭地域に関する様々な問い合わせや手配事項は増加傾向にあり、センターの配置人員が手薄になる中でもスタッフの努力により何とか対応することができました。特に、史料受け入れは増加傾向にあり、なかでも「そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト」の企画展を契機に発掘された北炭電力所の送電線図面は貴重であり、デジタル化のための準備を行っています。半面、受け入れた史料の管理・展示・保管の方法が課題になりつつあります。

■市民団体連携事業

○管内市民団体との関係強化：炭鉄港、産業観光・教育旅行の取り組み、アートプロジェクトなど、様々な活動の局面を通じて、管内の他団体との関係を引き続き強化しました。管内団体・自治体な

どから、当NPOが頼りにされる局面はさらに増加しており、そのためにもワンストップサービス拠点のセンターを維持する必要があります。そこで、道空知総合振興局との共働により、管内関係市町村が賛助会員として加入しマネジメントセンターの賃借料相当分を関係市町村が負担することの働きかけを行っているところです。

- 国内外の炭鉱遺産関係者・団体へのアピールと受入対応**：マネジメントセンターには国内外からの多様な求めが寄せられ、これに対して積極的に対応しました。

■拠点施設事業

- マネジメントセンターの運営継続**：限られた経営資源の制約の中で、定休日増と営業時間短縮によってマネジメントセンターの開館を継続し、ほぼ従来通りの機能を発揮することができました。マネジメントセンターの役割や存在意義については広く認識されつつあり、先に述べたように多方面からのアクセスは増加傾向にあることから、基盤安定への継続的な取り組みが不可欠です。特に、石蔵での企画展示や催事は、来訪者数の確保にとって有効であり、関連市町村との共同取り組みなど新たな展開を模索する必要があります。

■ヘリテージツーリズム事業

- 教育旅行の素材整備**：道空知総合振興局から受託した「そらちde産業観光促進事業」の一環として、教育旅行・産業観光のプログラムを開発し、環境省事業の一環として新たなプログラムの実証試験を行うなど、旅行業の本格展開に向けた準備を行いました。
- 営業実績の積み重ね**：岩見沢観光協会との共催ツアー、他社ツアーのガイド受託、アートプロジェクトでのシャトルバス運行、各種催事・視察の手配業務など、実質的な旅行業務はすでにスタートしています。しかし、当初4月に予定していた旅行業の登録を、補助事業が清算払いのため資金繰りがタイトとなり資産基準欠格の恐れがあったため1年延期せざるを得ませんでした。2015年春には開業できるよう着実に準備を進める必要があります。

■会務

- △**会員へのスペシャルサービスの充実**：ニューズペーパー、メールマガジン、ブログによって、法人としての活動情報の発信に務めました。特にブログは、NPOの動きをリアルタイムに伝えるツールとして、広く認知されるに至っています。会員に対しては、刊行物を無償配布するなどしましたが、会員特典として認識して頂くまでは至っていませんので、継続的なサービス向上が課題となっています。
- 会員数**：[2014年12月末] 総数=262名（昨年末253名）、運営会員=42名（同41名）、一般会員=217名（同211名）、賛助会員=3社（同2社）、[動静] 入会=28名（同38名）、退会=20名（同18名）、種別変更=4名（同2名）

第2号議案 2014年度活動決算報告、監査報告

2014年 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

2014年12月31日現在

単位：円

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
(現金・預金)		
現 金	109,369	
普通預金 北洋銀行	650,392	
普通預金 空知信用金庫	986	
普通預金 北海道労働金庫	902,258	
郵便振替口座	143,965	
現金・預金小計	1,806,970	
(棚卸資産)		
棚卸資産 [販売用書籍]	82,320	
貯蔵品 [バス回数券]	14,445	
その他流動資産小計	96,765	
(その他流動資産)		
前払費用 [保険料・メンテナンス料]	47,124	
未収収益 [札幌市立大]	951,440	
その他流動資産小計	998,564	
流動資産合計		2,902,299
2 固定資産		
(有形固定資産)		
什器備品	525,312	
減価償却累計額	▲ 453,690	
有形固定資産小計	71,622	
(投資その他の資産)		
敷 金	50,000	
投資その他の資産小計	50,000	
固定資産合計		121,622
資産合計		<u>3,023,921</u>
II 負債の部		
1 流動負債		
預り金 [社会保険料]	23,451	
流動負債合計		23,451
2 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		<u>23,451</u>
正味財産		<u>3,000,470</u>

2014年 その他事業会計 財産目録

2014年12月31日現在

該当事項なし

2014年 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

2014年12月31日現在

単位：円

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
(現金・預金)		
現 金	109,369	
普通預金 北洋銀行	650,392	
普通預金 空知信用金庫	986	
普通預金 北海道労働金庫	902,258	
郵便振替口座	143,965	
現金・預金小計	1,806,970	
(棚卸資産)		
棚卸資産 [販売用書籍]	82,320	
貯蔵品 [バス回数券]	14,445	
その他流動資産小計	96,765	
(その他流動資産)		
前払費用 [保険料・メンテナンス料]	47,124	
未収収益 [札幌市立大]	951,440	
その他流動資産小計	998,564	
流動資産合計	2,902,299	
2 固定資産		
(有形固定資産)		
什器備品	525,312	
減価償却累計額	▲ 453,690	
有形固定資産小計	71,622	
(投資その他の資産)		
敷 金	50,000	
投資その他の資産小計	50,000	
固定資産合計	121,622	
資産合計	3,023,921	
II 負債の部		
1 流動負債		
預り金 [社会保険料]	23,451	
流動負債合計	23,451	
2 固定負債	0	
固定負債合計	0	
負債合計	23,451	
III 正味財産の部		
1 前期繰越正味財産	5,007,524	
2 当期正味財産増加額	▲ 2,007,054	
正味財産合計	3,000,470	
負債および正味財産	3,023,921	

2014年 その他事業会計 貸借対照表

2014年12月31日現在

該当事項なし

2014年 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書

2014年1月1日～2014年12月31日

単位：円

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
受取会費		804,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金		197,289
3. 事業収益		
商品販売	174,600	
書籍販売	370,590	
飲食	213,050	
ガイドツアー	716,130	
受託業務	8,203,200	
その他	948,631	
		10,626,201
4. 助成金		
	0	0
5. 補助金		
空知総合振興局（緊急雇用	5,240,000	5,240,000
6. その他収益		
受取利息		851
経常収益合計		<u>16,868,341</u>
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
給料手当	4,656,400	
法定福利費	681,144	
雑給	148,880	
	人件費計	5,486,424
(2)その他経費		
売上原価	703,037	
謝金	4,126,092	
通信費	439,793	
光熱用水費	433,804	
旅費交通費	1,894,501	
旅費日当	506,750	
広告宣伝費	36,000	
交際費	50,727	
会議費	255,265	
消耗品費	633,829	
図書費	97,442	
印刷費	1,044,972	
修繕費	0	
地代家賃	100,000	
保険料	60,982	
委託料	18,144	
租税公課	2,000	
諸会費	133,880	
賃借料	204,591	
支払手数料	228,006	
雑費	170,390	

	その他経費計	11,140,205	
	事業費合計		16,626,629
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当		1,659,260	
法定福利費		103,390	
	人件費計	1,762,650	
(2)その他経費			
通信費		6,055	
旅費交通費		141,800	
交際費		6,350	
会議費		5,000	
租税公課		253,400	
支払手数料		1,890	
減価償却費		71,621	
	その他経費計	486,116	
	管理費合計		2,248,766
経常費用合計			18,875,395
	当期正味財産増加額		▲ 2,007,054
	前期繰越正味財産額		5,007,524
	当期正味財産合計		3,000,470

2014年その他事業会計 活動計算書

2014年1月1日～2014年12月31日

該当事項なし